

高等学校保健体育の学習評価に関する研究

～学習評価の考え方と手順～

研修指導室 中村 ふじ 久保寺 忠夫 中川 裕志 郡山 強 白井 功 落合 浩一

新しい学習指導要領は、完全学校週5日制の下、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図り、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成することを基本的なねらいとして、小学校・中学校では平成14年度に全面実施され、高等学校では本年度より学年進行で実施されている。

このねらいを実現するため、平成12年12月に教育課程審議会から「児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価の在り方について」の答申が出され、これを受けて国立教育政策研究所・教育課程研究センターから、平成14年2月に小学校及び中学校における「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料 評価規準、評価方法等の研究開発（報告）」が示された。

このような中で、体育センター研修指導室では、昨年度学習評価についての理論及び授業研究を行い、「中学校保健体育の学習評価に係る調査研究」として報告書にまとめた。

そして今年度の研修指導室における研究内容は、高等学校における「評価の観点及びその趣旨」が国立教育政策研究所より示されたことから、前年度の研究を踏まえ高等学校保健体育における学習評価及び評価資料の活用方法について理論的研究を行い、その結果をまとめ評価資料集を作成することで、各学校が学習評価計画を作成する際に活用できると考え、本テーマを設定した。

- | | | |
|---|----------------|--|
| 1 研究の目的 | 3月 | 研究発表 |
| 高等学校保健体育の学習評価及び評価資料の活用方法について研究し、各学校が学習評価計画を作成する際に活用できる評価資料集を作成することを目的とする。 | 5 | 研究の実際
次ページより |
| 2 研究の期間 | | 6 今後に向けて |
| 平成15年4月～平成17年3月
(2年継続研究の1年目) | | 今年度は2年継続研究の1年目ということで、学習指導要領の趣旨を生かす評価の考え方、評価を組み入れた年間指導計画の作成方法及び観点別学習状況評価の活用方法等について文献をもとに理論研究を行った。そして、それらを「学習評価の考え方と手順」としてまとめた。 |
| 3 研究の内容及び方法 | | まとめるにあたっては、次の点に留意し、できるだけわかりやすく使いやすいものを目指した。 |
| 平成15年度 | | (1) 活用できる評価資料集は、学習評価についての基本的な考え方が確認でき、評価計画を作成する手順が具体的に示されていること。 |
| (1) 学習評価に係る先行研究 | | (2) 学習評価の基本的な考え方と捉え方については、教員間での共通理解を図りやすくするため、内容が精選され、理解しやすいように示されていること。 |
| (2) 学習評価に係る理論研究 | | (3) 評価計画作成の手順については、具体的な例をあげながら解説されていること。 |
| (3) 学習評価に係る資料の作成 | | 来年度は、今年度まとめた「高等学校保健体育の学習評価ハンドブック～学習評価の考え方と手順～」をもとに実際の授業場面での課題を明確にしつつ、その解決を目指して授業研究に取り組む予定である。そして、その結果をまとめることで各学校が評価計画を作成する際に活用できる評価資料集を作成していきたいと考える。 |
| (4) 中間のまとめ | | |
| 平成16年度 | | |
| (5) 研究協力校における授業実践 | | |
| (6) 授業結果のまとめ | | |
| (7) 報告書の作成 | | |
| (8) 研究のまとめ | | |
| 4 研究計画 | | |
| 平成15年度 | | |
| 4月～9月 | 研究計画立案 | |
| 10月～2月 | 文献研究 | |
| 3月 | 研究発表 | |
| 平成16年度 | | |
| 4月 | 授業実践説明会 | |
| 6月～10月 | 研究協力校における授業実践 | |
| 11月～1月 | 研究結果のまとめ、報告書作成 | |